

分野	専門分野	授業科目	看護学概論
単位（時間）	1 単位（30 時間）	開講時期	1 年次前期～後期
講師名 （時間・所属）	坂井由美子（30 時間・学院教員 看護師）		
< 科目設定理由 > 看護学の基盤を学び、看護を考える第一歩とする。 < 科目目標 > 看護の変遷を知り、その対象について理解する。 専門職として看護の役割と機能を理解する < 授業内容 > 1 看護とは 2 看護の対象の理解 3 国民の健康状態と生活 4 看護の提供者 5 看護における倫理 6 看護の提供の仕組み 7 広がる看護の活動領域			
< 授業の進め方 > 講義・演習			
< 受講要件 > なし			
< テキスト > 系統看護学講座 専門分野 基礎看護学 1 看護学概論 医学書院			
< 参考文献 > よくわかる看護者の倫理綱領 照林社 フローレンス・ナイチンゲール看護覚え書 現代社 看護の基本となるもの 日本看護協会出版会 やさしく学ぶ看護理論 日総研出版 看護六法 新日本法規出版			
< 評価方法 > 学科試験			

分野	専門分野	授業科目	医療コミュニケーション
単位（時間）	1 単位（15 時間）	開講時期	1 年次前期
講師名 （時間・所属）	伊東 正広（15 時間・学院教員 看護師）		
< 科目設定理由 > 人間関係の基盤となるコミュニケーションについて学ぶ。 < 科目目標 > コミュニケーションの意義と目的を理解し、話を聞く姿勢、自己表現できる技術を習得する。 チーム医療におけるコミュニケーションの重要性を理解する。 < 授業内容 > 1 医療コミュニケーションの意義と目的 2 コミュニケーションの構成要素と成立過程 3 ホスピタリティマナー 4 関係構築のためのコミュニケーション 5 コミュニケーション障害がある人への対応 6 プロセスレコード			
< 授業の進め方 > 講義 演習			
< 受講要件 > なし			
< テキスト > 系統看護学講座 専門分野 基礎看護学 2 基礎看護技術 I 医学書院 系統看護学講座 基礎分野 人間関係論 医学書院			
< 参考文献 > なし			
< 評価方法 > 学科試験			

分野	専門分野	授業科目	看護過程・看護記録
単位（時間）	1 単位（45 時間）	開講時期	1 年次後期
講師名 （時間・所属）	内川 千賀（45 時間・学院教員 看護師）		
< 科目設定理由 > 看護の問題解決プロセスを学ぶ。また、その実践を記録することができる。 < 科目目標 > 看護過程の構成要素とその関係性を理解し、看護の展開ができる。また、その過程を正しく記録できる。 < 授業内容 > 1 看護過程とは 2 看護過程の構成要素 3 看護過程の各段階 4 看護過程の展開 5 看護記録 6 看護理論			
< 授業の進め方 > 講義 演習～事例展開			
< 受講要件 > なし			
< テキスト > 看護がみえる vol.4 看護過程の展開 メディックメディア 系統看護学講座 専門分野 基礎看護学 2 基礎看護技術 I 医学書院 NANDA－I 看護診断 定義と分類 医学書院 看護診断ハンドブック 医学書院 看護診断のためのよくわかる中範囲理論 学研			
< 参考文献 > 看護の基本となるもの 日本看護協会 人間関係の看護論 医学書院 やさしく学ぶ看護理論 日総研 ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程と看護診断 ヌーベルヒロカワ			
< 評価方法 > 学科試験			

分野	専門分野	授業科目	臨床看護総論
単位（時間）	1 単位（30 時間）	開講時期	1 年次後期
講師名 （時間・所属）	小池 久美（30 時間・佐賀県看護協会他非常勤講師・看護師）		
< 科目設定理由 > 健康上の問題を持つ対象に対し行われる、経過別及び症状別の看護について学ぶ。 < 科目目標 > 対象の健康状態を把握し、健康障害・経過に応じた看護の視点を習得する。また、症状を示す患者に対する看護の視点を養う。 < 授業内容 > 1 健康上の問題をもつ対象者と家族への看護 2 健康状態の経過に基づく看護 1) 急性期 2) 慢性期（学習支援の技術を含む） 3) 回復期 4) 人生の最終段階 3 主要症状に対する看護			
< 授業の進め方 > 講義 演習			
< 受講要件 > なし			
< テキスト > 系統看護学講座 専門分野 基礎看護学 4 臨床看護総論 医学書院			
< 参考文献 > なし			
< 評価方法 > 学科試験			

分野	専門分野	授業科目	フィジカルアセスメント
単位（時間）	1 単位（30 時間）	開講時期	1 年次前期～後期
講師名 （時間・所属）	伊東 正広（30 時間・学院教員 看護師）		
< 科目設定理由 > 対象の身体状況を評価する方法を学ぶ。 < 科目目標 > フィジカルアセスメントの目的を理解する。 対象の身体状態を正しく観察する方法を理解し、実施できる。 健康上の問題を評価できる。 < 授業内容 > 1 フィジカルアセスメント 1) フィジカルアセスメントとは 2) 系統的フィジカルアセスメント 3) バイタルサイン測定 4) 身体計測 2 症状・生体機能管理技術 1) 症状・生体機能管理技術の基礎知識 2) 検体検査 3) 生体情報のモニタリング			
< 授業の進め方 > 講義 演習～技術試験あり ※バイタルサイン測定の技術試験合格が生活援助基礎実習の受講要件となる。			
< 受講要件 > なし			
< テキスト > 系統看護学講座 専門分野 基礎看護学 2 基礎看護技術 I II 医学書院 看護がみえる vol.3 フィジカルアセスメント メディックメディア			
< 参考文献 > 系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能 解剖生理学 医学書院			
< 評価方法 > 学科試験 技術試験			

分野	専門分野	授業科目	清潔・排泄・栄養の援助
単位（時間）	1 単位（45 時間）	開講時期	1 年次前期～後期、2 年次前期
講師名 （時間・所属）	1 年次 田中希代子（30 時間・学院教員 看護師） 2 年次 学院教員 （15 時間・学院教員 看護師）		
< 科目設定理由 > 栄養・清潔・排泄に関する基本的な援助を学ぶ。 < 科目目標 > 栄養・排泄・清潔に関する基礎知識を身につけ、援助ができる。 < 授業内容 > ・ 1 年次（30 時間） 1 食事援助技術 1) 食事援助の基礎知識 2) 食事摂取の介助 2 排泄援助技術 1) 自然排尿および自然排便の介助 2) 自然排尿・排便を促す援助 3 清潔・衣生活援助技術 1) 清潔の援助 2) 病床での衣生活の援助 ・ 2 年次（15 時間） 1 食事援助技術 1) 非経口的栄養摂取の援助 2 排泄援助技術 1) 導尿 2) 排便を促す援助 ① 浣腸 ② 摘便 < 授業の進め方 > 1 年次 30 時間 2 年次 15 時間 講義 演習～技術試験あり ※清潔の援助技術の技術試験合格が生活援助基礎実習の受講要件となる。			

＜受講要件＞

なし

＜テキスト＞

系統看護学講座 専門分野 基礎看護学 3 基礎看護技術Ⅱ 医学書院

看護がみえる vol.1 基礎看護技術 メディックメディア

看護がみえる vol.2 臨床看護技術 メディックメディア

＜参考文献＞

系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能 解剖生理学 医学書院

＜評価方法＞

学科試験

技術試験

分野	専門分野	授業科目	感染予防・与薬の援助
単位（時間）	1 単位（45 時間）	開講時期	1 年次前期～後期、 2 年次前期～後期
講師名 （時間・所属）	1 年次 内川華奈子（15 時間・学院教員 看護師） 2 年次 学院教員（30 時間・学院教員 看護師）		
< 科目設定理由 > 感染予防・与薬に関する基本的な援助を学ぶ。 < 科目目標 > 標準予防策を理解し、実施できる。感染予防と感染性廃棄物の取り扱いを理解する。 薬物療法の援助及び検査の援助ができる。 < 授業内容 > ・ 1 年次（15 時間） 1 感染防止の技術 1) 感染とその予防の基礎知識 2) 標準予防策 3) 感染経路別予防策 4) 洗浄・消毒・滅菌 5) 感染性廃棄物の取り扱い 2 与薬の技術 1) 与薬の基礎知識 2) 経口与薬・口腔内与薬 3) 吸入 4) 点眼 5) 点鼻 6) 経皮的与薬 7) 直腸内与薬 ・ 2 年次（30 時間） 1 感染防止の技術 1) 無菌操作 2) 針刺し防止策 2 与薬の技術 1) 注射 2) 輸血管理 3 診察・検査・処置の援助			

<授業の進め方> 1 年次 15 時間 2 年次 30 時間 講義 演習～技術試験あり
<受講要件> なし
<テキスト> 系統看護学講座 専門分野 基礎看護学 2 基礎看護技術Ⅰ 医学書院 系統看護学講座 専門分野 基礎看護学 3 基礎看護技術Ⅱ 医学書院 看護がみえる vol.1 基礎看護技術 メディックメディア 看護がみえる vol.2 臨床看護技術 メディックメディア
<参考文献> 系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能 解剖生理学 医学書院
<評価方法> 学科試験 技術試験

分野	専門分野	授業科目	環境・活動・休息の援助
単位（時間）	1 単位（45 時間）	開講時期	1 年次前期～後期、2 年次前期
講師名 （時間・所属）	1 年次 古賀 由美（26 時間・学院教員 看護師） 稲富 悦子（4 時間・佐賀県医療センター好生館 皮膚・排泄ケア認定看護師） 2 年次 学院教員（15 時間 学院教員 看護師）		

< 科目設定理由 >

環境・活動・休息に関する基本的な援助を学ぶ。

< 科目目標 >

療養環境を整える意義を理解し、基本的な援助が実施できる。

活動・休息・安楽への援助の意義を理解し、基本的な援助が実施できる。

褥瘡予防及びケアの方法について理解する。

< 授業内容 >

1 年次（30 時間）

・古賀講師

1 環境調整技術

- 1) 援助の基礎知識
- 2) 援助の実際

2 活動・休息援助技術

- 1) 基本的活動の援助
- 2) 睡眠・休息の援助

3 苦痛の緩和・安楽確保の技術

- 1) 体位保持
- 2) 罨法
- 3) 身体ケアを通じてもたらされる安楽

4 呼吸・循環を整える技術

- 1) 体温管理の技術
- 2) 末梢循環促進ケア

5 創傷管理技術

- 1) 創傷管理の基礎知識

・稲富講師

1 褥瘡発生リスクと予防方法

2 褥瘡の治癒過程

3 褥瘡のケア

2 年次（15 時間）

1 呼吸・循環を整える技術

- 1) 酸素療法（酸素吸入療法）
- 2) 排痰ケア（体位ドレナージ、咳嗽介助、ハフティング、吸引）
- 3) 胸腔ドレナージ
- 4) 吸入
- 5) 人工呼吸療法

2 創傷管理技術

- 1) 創傷処置

< 授業の進め方 >

講義

演習～技術試験あり

※シーツ交換の技術試験合格が療養見学実習の受講要件となる。

< 受講要件 >

なし

< テキスト >

系統看護学講座 専門分野 基礎看護学 3 基礎看護技術Ⅱ 医学書院

看護がみえる vol.1 基礎看護技術 メディックメディア

< 参考文献 >

系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能 解剖生理学 医学書院

< 評価方法 >

学科試験

分野	専門分野	授業科目	クリティカルケアと看護
単位（時間）	1 単位（30 時間）	開講時期	2 年次前期
講師名 （時間・所属）	岩村 高志（10 時間・佐賀県医療センター好生館 救急科 医師） 宮本 裕太（10 時間・佐賀県医療センター好生館副看護師長/クリティカルケア認定看護師/特定行為研修修了） 田中 由美・北川 誠也（10 時間・佐賀県医療センター好生館副看護師長/救急看護認定看護師/特定行為研修修了）		
< 科目設定理由 > クリティカルケアを必要とする患者及び家族の看護を学ぶ。 < 科目目標 > クリティカルな状況にある患者及び家族を理解する。 生命の危機にある対象の病態を理解し、必要な看護技術を理解する。 < 授業内容 > ・岩村講師 1 クリティカルな状況にある患者の病態の理解と看護 1) 過大侵襲を受けた患者の生体反応 2) 呼吸機能障害 3) 循環機能障害 4) 脳・神経機能障害 5) 消化機能障害 6) 栄養・代謝機能障害 7) 凝固・線溶系障害 8) 腎機能障害 9) 多臓器障害 10) 精神機能障害 ・宮本講師 1 クリティカルケアとは 1) クリティカルケア看護の特性 2) クリティカルケアを必要とする患者・家族の特徴 3) 危機状態にある患者・家族へのケア 2 クリティカルケア看護に必要なマネジメント、倫理・法律 1) クリティカルケアと看護管理 2) クリティカルケア看護とチーム医療 3) クリティカルケア看護と倫理・法律			

・田中/北川講師

1 クリティカルケア看護に必要な看護技術

- 1) 急変時の対応
- 2) 呼吸管理
- 3) 鎮痛・鎮静管理
- 4) 体液管理
- 5) 栄養管理
- 6) 体温管理
- 7) 創傷管理
- 8) ドレーン管理
- 9) 早期回復への援助

<授業の進め方>

講義・演習

<受講要件>

なし

<テキスト>

系統看護学講座 別巻 クリティカルケア看護学 医学書院

<参考文献>

なし

<評価方法>

学科試験

分野	専門分野	授業科目	周術期看護
単位（時間）	1 単位（15 時間）	開講時期	2 年次前期～後期
講師名 （時間・所属）	伊東 正広（11 時間・学院教員 看護師） 草場智恵子(4 時間・佐賀県医療センター好生館看護師長/手術看護認定看護師)		
< 科目設定理由 > 手術療法を受ける患者及び家族に対する必要な看護を学ぶ。 < 科目目標 > 手術を受ける患者の術前・術中・術後を通し、身体的状態や家族を含めた看護が理解できる。 手術室における看護の実際と看護師の役割が理解できる。 < 授業内容 > ・伊東講師 1 周手術期看護とは 2 手術前患者の看護 3 手術後患者の看護 4 事例展開 ・草場講師 1 外科治療を支える分野 麻酔法、呼吸管理 2 手術中患者の看護			
< 授業の進め方 > 講義・演習			
< 受講要件 > なし			
< テキスト > 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論 医学書院			
< 参考文献 > 系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能 解剖生理学 医学書院 系統看護学講座 専門基礎分野 臨床外科看護各論 医学書院			
< 評価方法 > 学科試験			

分野	専門分野	授業科目	リハビリテーションと看護
単位（時間）	1 単位（15 時間）	開講時期	2 年次前期～後期
講師名 （時間・所属）	市丸 勝昭（6 時間・佐賀県医療センター好生館 理学療法士） 江口 玲奈（9 時間・学院教員 看護師）		
< 科目設定理由 > リハビリテーションを受ける患者の看護を学ぶ。 < 科目目標 > リハビリテーションの意義について理解し、回復時期や障害に応じたリハビリテーションの機能や役割を理解する。 < 授業内容 > ・市丸講師 1 リハビリテーション総論 2 リハビリテーション看護の概要 3 リハビリテーション看護の対象 4 リハビリテーション看護に関する法制度 5 ステージ別リハビリテーション看護 6 生活者としての対象を支えるリハビリテーション看護 A. 運動機能障害 ・江口講師 1 リハビリテーション看護概論 2 中枢神経系の障害とリハビリテーション看護 3 呼吸器・循環器系の障害とリハビリテーション看護 4 感覚器系の障害とリハビリテーション看護			
< 授業の進め方 > 講義・演習			
< 受講要件 > なし			
< テキスト > 系統看護学講座 別巻 リハビリテーション看護 医学書院			
< 参考文献 > なし			
< 評価方法 > 学科試験			